

令和元年 10 月 17 日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学芸術工学研究科
環境デザイン研究所

所長 栗原 康行

電話 (052) 721-1225

(名古屋市政記者クラブ・中部芸術文化記者クラブと同時発表)

名古屋市立大学芸術工学研究科・環境デザイン研究所主催公開シンポジウム
『コンピューターを用いた新たなデザイン手法の可能性と
その教育について考える』を開催します

名古屋市立大学芸術工学研究科環境デザイン研究所では、11月23日(土・祝)に、3名の設計者と研究者を招いて、建築に係わる実務者・学生や一般市民の方に向けて「コンピューターを用いた設計手法」に関する公開シンポジウムを開催いたします。

つきましては、本シンポジウムを広く知っていただくためにご案内申し上げるとともに、併せて是非、ご取材いただきますようよろしくお願いいたします。

記

- 1 日時 令和元年 11 月 23 日 (土・祝) 13:30~17:00 (受付 13:00 から)
- 2 場所 『名古屋市立大学ミッドタウン名駅サテライト』
(名古屋市中村区名駅 1-1-1 JP タワー名古屋 5 階 ミッドタウンクリニック名駅内)
- 3 対象者 建築に係わる実務者や建築を学ぶ学生、建築に興味をお持ちの一般市民の方など
- 4 内容 (1) 「建築教育のアップデート」
(杉田宗氏／広島工業大学環境学部建築デザイン学科准教授)
(2) 「デジタルファブリケーションの現在」
(井上智博氏／FABLAB 北加賀屋、京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab)
(3) 「しごとのアルゴリズム」
(東福大輔氏／零三工作室主宰、名古屋市立大学非常勤講師)
(4) 上記三者によるディスカッション
- 5 参加費 無料
- 6 定員 先着 80 名 (申込先着順で定員になり次第締切ります)
- 7 申込方法 令和元年 11 月 20 日(水)までに、ウェブサイトより聴講申込
- 8 問合せ先 名古屋市立大学芸術工学研究科 准教授 向口 武志
(事務室 052-721-1225、研究室直通 052-721-6539、[e-mail muka@sda.nagoya-cu.ac.jp](mailto:e-mail_muka@sda.nagoya-cu.ac.jp))

コンピューターを用いた

新たなデザイン手法の可能性と

その教育について考える

ーデジタル技術による『拡張創造』ー

2019年11月23日

(土・祝)

13:30 ~ 17:00

(13:00 開場)

会場：

ミッドタウンクリニック名駅内

名古屋市立大学ミッドタウン名駅サテライト

(JPタワー名古屋5階)

入場無料、事前申込制【先着 80 名】

講師：

杉田 宗

広島工業大学環境学部建築デザイン学科准教授

「建築教育のアップデート」

井上 智博

FABLAB 北加賀屋、京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab

「デジタルファブリケーションの現在」

東福 大輔

零三工作室主宰、名古屋市立大学非常勤講師

「しごとのアルゴリズム」



IT 技術に設計や製作を「手伝わ」せる「デジタル・デザイン」や「デジタル・ファブリケーション」。
 人々の創造力を刺激し拡張するこれらの技術は、
 現在、世界的な潮流となって産業界のみならず学生や市民の間にも広がりつつあります。
 デジタル・デザインの導入に踏み切れない建築設計者や学生の方にむけ、
 地方都市をベースに実践されている識者を招いてお話をうかがいます。

杉田 宗

すぎた・そう

「建築教育のアップデート」

1979年広島県生まれ、2004年パーソンズ美術大学卒業。米国や中国の設計事務所に勤務した後、2010年ペンシルバニア大学大学院建築学科修士課程を修了。2010年より杉田三郎建築設計事務所。2012～2014年東京大学 Global30 国際都市建築デザインコースアシスタント。現在広島工業大学環境学部建築デザイン学科准教授。コンピュータショナルデザインやデジタルファブリケーションを用いた建築やインテリアの設計を専門とする。代表的な作品は stickMergy(2010)、gathering(2010)、Game of Space(2011)、tsumibako(2014)、HDL pavilion(2017) など。



井上 智博

いのうえ・ともひろ

「デジタルファブリケーションの現在」

1987年堺市生まれ、2012年豊橋技術科学大学大学院建築・都市システム学専攻卒業。2012-2013年 Noiz Architects を経て、2014年より FABLAB 北加賀屋および京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab Design Factory 勤務。平日は京都工芸繊維大学にて学生にデジタルファブリケーションを教え、週末は、FABLAB 北加賀屋にて市民に対してデジタルファブリケーションを教えている。デジタルファブリケーションを利用したものづくり、ことづくりを主な活動領域としており、メイカーズムーブメントを一過性の運動にしないために、それを推進していくような動きを展開している。



東福 大輔

とうふく・だいすけ

「しごとのアルゴリズム」

1973年愛知県生まれ。1995年名古屋大学卒業、1997年名古屋大学大学院修了。鹿島建設建築設計部、株式会社磯崎新アトリエを経て、2004年ワークラウンジ 03- を共同設立、2009年中国北京にて零三工作室を設立。現在、設計業務のかたわら、名古屋市立大学および滋賀県立大学において、アルゴリズムを用いたデジタルデザインを教えている。



聴講申込：

- ・右の QR コードから申し込みページ (<http://www.03-x.com/lec2019/>) へアクセスできます。ページの指示に従って必要事項をご記入の上、11/20 (水) までにお申込みください。
- ・先着 80 名 (申込先着順で定員になり次第締め切ります)。



会場：

ミッドタウンクリニック名駅内 『名古屋市立大学 ミッドタウン名駅サテライト』

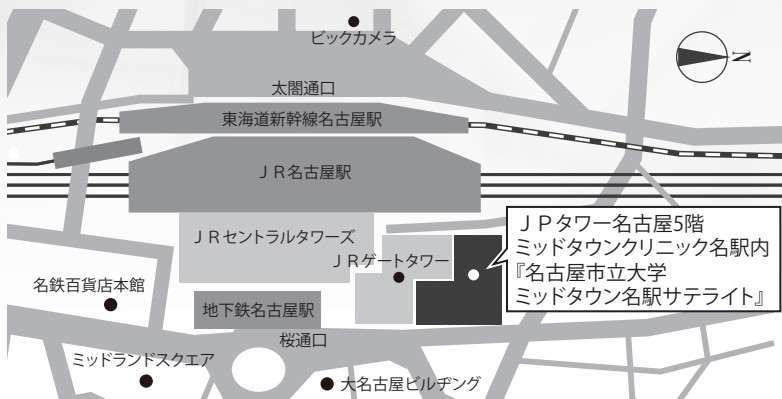
(名古屋市中村区名駅1-1-1 J Pタワー名古屋 5階 ミッドタウンクリニック名駅内)

・JR名古屋駅からは2階 貫通通路より、JR以外の鉄道をご利用の方は地下通路より、J Pタワー名古屋 2階へお越しください。

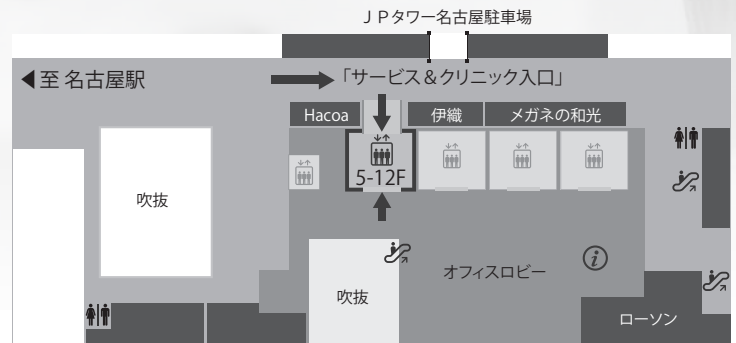
・J Pタワー名古屋 2階の「サービス&クリニック」入口より、5～12階専用エレベーターにて5階にお上がりください。

※商業施設「KITTE名古屋」の上階になります。

※地下階や1階のエレベーターは5階へは直接参りません。



< J Pタワー名古屋へのアクセス >



< J Pタワー名古屋 2F 平面図 >

お問い合わせ先： 名古屋市立大学 芸術工学部事務室
 〒464-0083 名古屋市千種区北千種 2丁目 1番 10号
 TEL:052-721-1225 (代)